



# エコアクション21

## 環境活動レポート

2013年度版



株式会社トーヤ

2013年度版(2013年4月～2014年3月) 2014年6月23日改定

# 目 次

環境方針	1
当社の概要	2
環境目標とその実績	3
主要な環境活動計画の内容	4
環境活動の取り組み結果の評価	5、6、7
環境関連法規への違反、訴訟等の有無	8
実施体制図	9
代表者による全体の取り組み状況の評価及び見直し	10

2010年度版（2010年4月～2011年3月）	2011年5月8日改定
2011年度版（2011年4月～2012年3月）	2012年5月9日改定
2012年度版（2012年4月～2013年3月）	2013年7月4日改定
2013年度版（2013年4月～2014年3月）	2014年4月10日改定

# 環境方針



## 基本理念

自然を大切にし、私たちも自然の一部である事を自覚し、  
自然を守りながら生産活動をする。  
それが株式会社トーヤの基本理念です。

## 基本方針

1. 環境に関する法規制などを遵守する。
2. 環境目標を定め、継続的改善に努める。
3. 省エネルギー・省資源につとめ、水資源の有効利用に取り組む。
4. 廃棄物の削減、再利用・リサイクルを推進する。
5. 環境方針・環境活動レポートをホーム・ページ等を利用して広く一般に公開する。
6. 全従業員に環境方針を周知徹底し、環境問題の意識向上を図る。
7. 環境によい製品を開発しその啓蒙と販売に努める。



平成22年3月31日

代表取締役 戸谷 靖夫

# 当社の概要



事業所名	株式会社 トーヤ
代表者名	代表取締役 戸谷 靖夫
所在地	〒 480 - 1131 愛知県長久手市原邸411
連絡先	TEL 0561-62-4756
	FAX 0561-62-9053
E-mail	toya@bc.wakwak.com
環境保全関係責任者	工場長 水谷 彰秀
環境保全関係担当者	責任者 水谷 彰秀
事業内容	プリント基板及び実装治具の 開発・設計・製造・販売
事業規模	製品出荷額（年間） 2億円
従業員数	18名
工場延床面積	280㎡
エコアクション21 対象範囲	全組織・全活動を対象とする



## 環境目標とその実績及び中期計画

### 1) 過去4年間の環境状況（実績）

当社の過去4年間における「二酸化炭素排出量」「廃棄物排出量」「総排水量」の実績は、以下の通り。

		2009年	2010年 基準	2011年	2012年	2013年
二酸化炭素排出量	製品出荷額（億円）	2	2.2	2.2	2	2
	総量（kg-CO <sub>2</sub> /年）	21,593	21,989	17,353	16,826	14,496
	製品出荷額当たり （kg-CO <sub>2</sub> /億円）	10,797	9,995	7,888	8,413	7,248
廃棄物排出量	総量（t/年）	0.9	0.75	0.5	0.53	0.6455
総排水量 （水使用量）	総量（m <sup>3</sup> /年）	570	665	385	228.1	143.7
	製品出荷額当たり （m <sup>3</sup> /億円）	285	302	175	114.05	71.35

（注）電力の排出係数=0.378kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。

### 2) 2013年度の環境目標と実績

	2013年4月～2014年3月の目標		実績	
二酸化炭素排出量	21769kg-CO <sub>2</sub>	10884kg-CO <sub>2</sub> /億円	14496kg-CO <sub>2</sub>	7248kg-CO <sub>2</sub> /億円
廃棄物排出量	0.742t		0.6455t	
総排水量（水使用量）	658m <sup>3</sup>	329m <sup>3</sup> /億円	143.7 m <sup>3</sup>	71.35m <sup>3</sup> /億円

（注）/億円は、製品出荷額当たりの数値

### (2) 基板の鉛フリー化と鉛フリーフロー（ディップ）パレットの販売拡大

	2013年4月～2014年3月の目標	実績
鉛フリー基板への移行	6件（全体の3%）	2件
鉛フリーフロー（ディップ）パレットの 販売拡大	15件	26件

### 2) 2014年度以降の中期計画

(1) 2013年度は2010年度設定の中期計画 最終年度となり、2014年度以降は2013年度までの実績を基に2017年度までの中期計画を設定し取り組む。

グリーン調達、化学物質の管理強化・削減に取り組みます。

(2) 「二酸化炭素排出量」「総排水量」・「廃棄物排出量」の中期計画

① 2010年度を基準として2013年度までに、各々6%以上削減を

目標に取り組んできた結果と業態の変化により、二酸化炭素排出量は34%、

総排水量は52%、廃棄物排出量は14%の削減を達成しました。2014年度以降の中期計画

大きな削減は困難な為、2014年度から2017年度までの4年間で2013年度を基準とし

3年間で排出量1%削減を中・長期目標とします。

	中・長期の目標（2017年度まで）	
	総 量	出荷額あたりの排出量
二酸化炭素排出量	14351kg-CO <sub>2</sub>	9895kg-CO <sub>2</sub> /億円
廃棄物排出量	0.648t	0.34t/億円
総排水量	142m <sup>3</sup>	299m <sup>3</sup> /億円

②2017年度の目標値を目指して、毎年以下の排出量に段階的環境目標を掲げる。

「年次別の年間排出量環境目標一覧」

		2014年度 0.4%削減	2015年度 0.6%削減	2016年度 0.8%削減	2017年度 1%削減
二酸化炭素排出量	総量	14438kg-CO <sub>2</sub>	14409kg-CO <sub>2</sub>	14380kg-CO <sub>2</sub>	14351kg-CO <sub>2</sub>
廃棄物排出量	総量	0.643t	0.641 t	0.64t	0.639 t
総排水量 (水使用量)	総量	143.4m <sup>3</sup>	142.8m <sup>3</sup>	142.5m <sup>3</sup>	142.2m <sup>3</sup>

(2)「グリーン調達」「化学物質の削減」「鉛フリー基板拡販」の中期計画

①「グリーン調達」に関して

治具のネジ等、錆びずに長期使用が可能なステンレス製を優先して購入する。  
紙類など再生品で代用可能な場合は優先的に購入する。

②「化学物質の削減」に関して

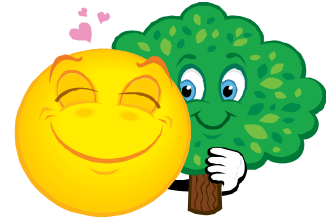
有機溶剤を使用しないHDコーティングを商品化し切り替えの提案をしている。  
薬品をより環境に優しい物へと切り替えてゆく。

③「鉛フリーフロー（ディップ）パレット拡販」に関しては、

2011年度取り組みを継続し以下の計画を進める。

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
グリーン 調達	治具のネジ類を全てSUSに切り替える。	購入都度グリーン調達の検討	購入都度グリーン調達の検討	購入都度グリーン調達の検討
化学物質の削減	HDコーティング切り換え顧客数5件	HDコーティング切り換え顧客数6件	HDコーティング切り換え顧客数7件	HDコーティング切り換え顧客数8件
鉛フリー（フロー）パレットの販売拡大	新規顧客件数 28件	新規顧客件数 30件	新規顧客件数 32件	新規顧客件数 34件

# 主要な環境活動計画の内容



## (1) 二酸化炭素排出量（電気使用量及び、コスト）の削減活動

- ①事務所の窓にネットを張り、カボチャを植え緑のカーテンを育て室温上昇を抑えました。出来たカボチャは皆で頂きました。
- ③無駄な電気使用を削減するため、照明のスイッチ付近へ「使わないときはスイッチをOFF！」のメッセージ貼付け自覚を促す。
- ④エアコン設定温度の目安を夏期（6－9月）は28℃、  
冬季（12－3月）は22℃とし、エアコン付近に明記。
- ⑤照明のスイッチを小エリア毎に設置し使用しないエリアの消灯を実施。



## (2) 廃棄物排出量の削減活動

シュレッダーにかけた廃上質紙は廃棄物ではなく、梱包用緩衝材として再利用する。  
また、今後も地元の「子ども会」へ紙類（古新聞）のリサイクル等に協力。  
当社で発生する産業廃棄物は全て産廃業者に引き取られており、  
マニフェスト等の必要書類も確認・保管しております。  
フローパレットのネジ類を長期使用出来るステンレスに順次切換え、  
廃棄物の削減に取り組みます。



## (3) 総排水量の削減活動

水道には「水を大切に」を掲示し、水の使用量を減らす意識を高めています。  
また、生産量に最適な水の吐出時間を調整し削減を進めています。

## (4) プリント基板の鉛フリー化と鉛フリー用DIPパレットの販売拡大

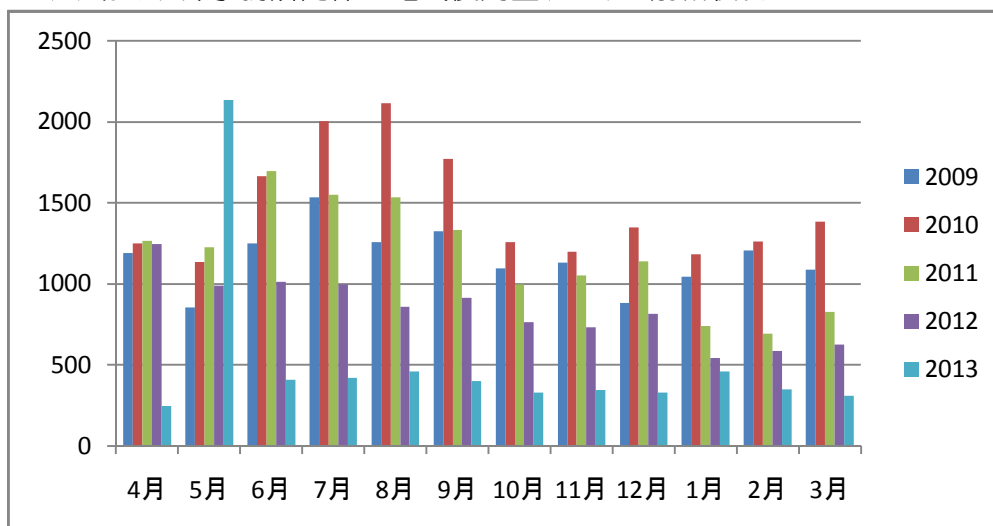
- ①「基板の鉛フリー化」推進の為、既存の製品に関して  
お客様へ鉛フリー化の提案を行いました。
- ②「鉛フリーフロー（ディップ）パレットの販売拡大」に関しては従来品の2倍近い

製品寿命が延び、お客様の廃棄物削減にも寄与出来ると考えております。

## 環境活動の取り組み結果の評価と今後の取組

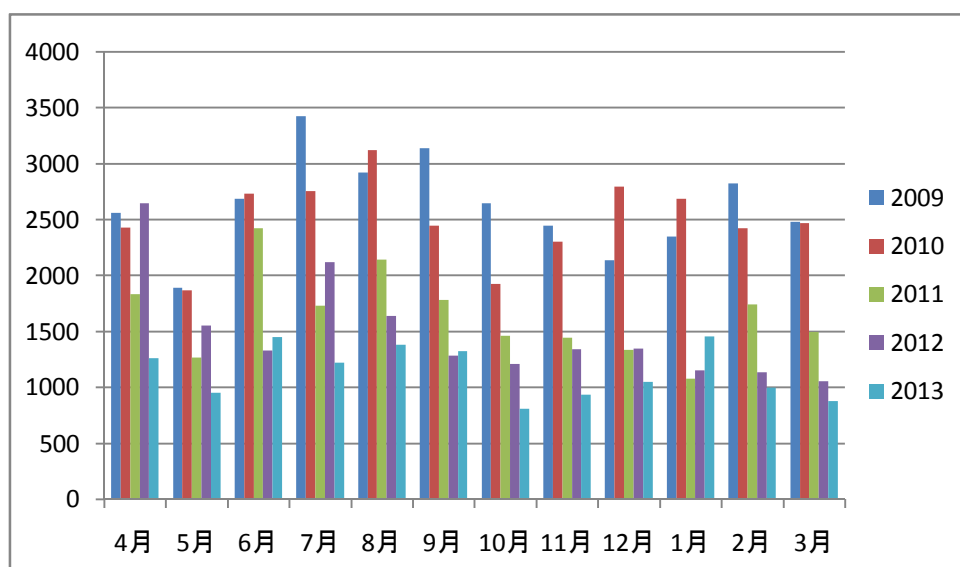
### 1) 二酸化炭素排出量（電気使用量及び、コスト）の削減活動

#### (1) 動力以外事務所関係の電気使用量(AB)の削減状況



電気使用量（AB）は契約容量を見直し、容量に合わせた生産に最適化したため、前年に比べ使用量を削減できました。

#### (2) 動力電気使用量C の削減状況



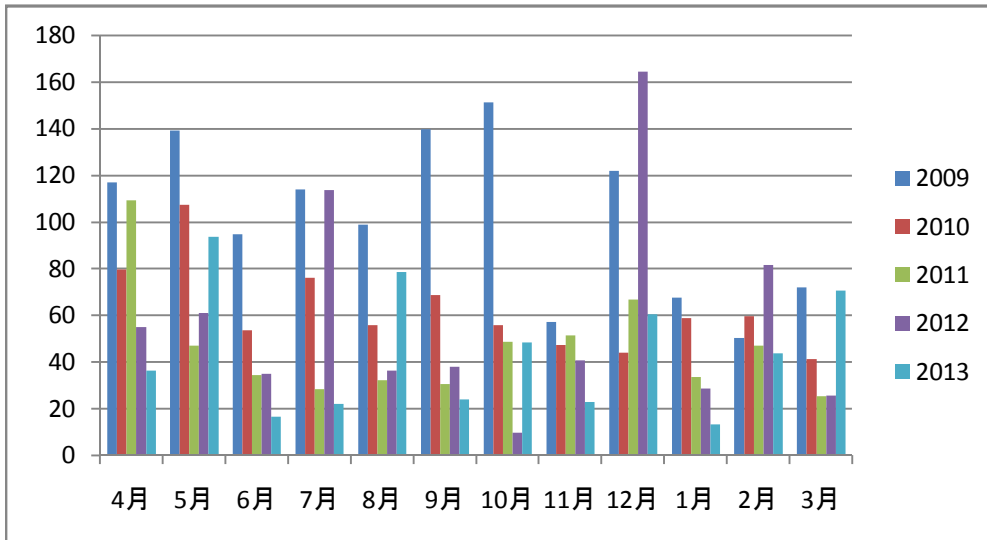
① 「動力電気使用量C」は基準年である2010年度に比べ削減できました。業態の変化が最大の要因だと考えます。

#### (3) 二酸化炭素排出量の削減状況

- ① 灯油の使用量を押さえ、二酸化炭素排出量を減らす事が出来ました。
- ② 今後は以下に取り組み更なる削減に努めます。
  - ・旧タイプエアコンを更新時に省エネタイプへの取り替え。

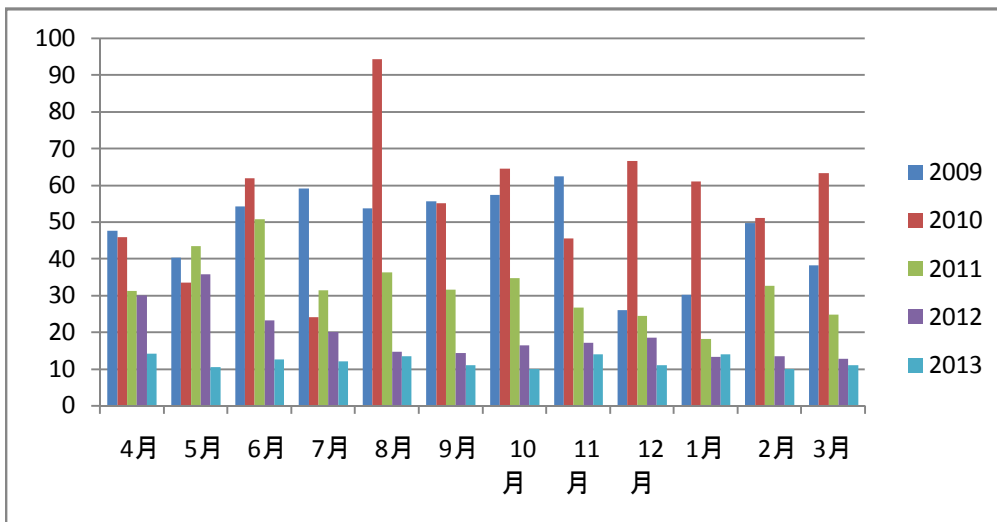


## 2) 廃棄物排出量の削減状況



廃棄物の排出量は昨年に比べ、廃プラスチックが若干増加しました、納期短縮の為、社内追加工を増やした事により、廃材が出ました。治具を切り出した廃材での部品製作などにより、排出量削減に努めたい。形のくずれた使用済み段ボールはカットして梱包緩衝材として使用。今後も上記活動の継続と平行して、提案活動により削減案を出して行きたい。

## 3) 総排水量の削減状況



総排水量はデータを取り初めてから最も少なくなりました。工程の変更が大きいですが、水を使用する工程を見直した事などで昨年と比べても減少する事ができました。今後も地道に削減活動を継続し参ります。

#### 4) 鉛フリーフロー（ディップ）パレットの販売拡大と基板の鉛フリー化

共晶はんだから鉛フリーはんだへ切り替える際に問題となる熱対策として、鉛フリーフロー（ディップ）パレットの使用をご提案しております。

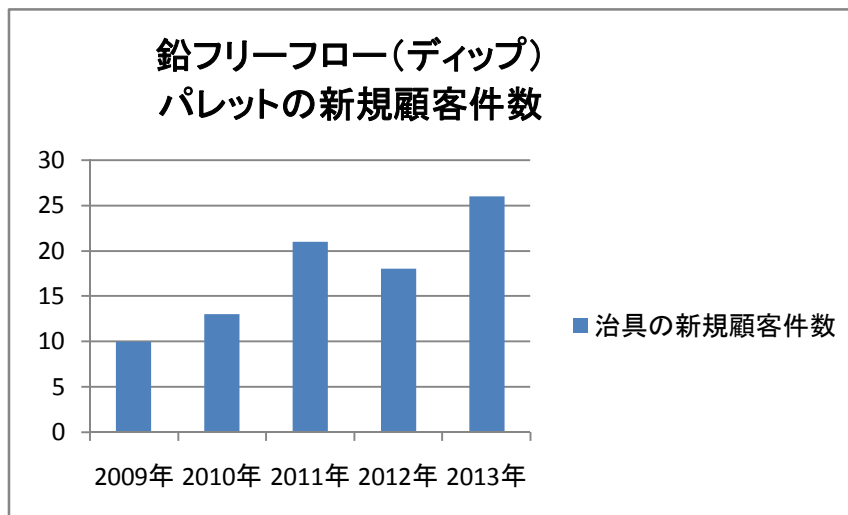
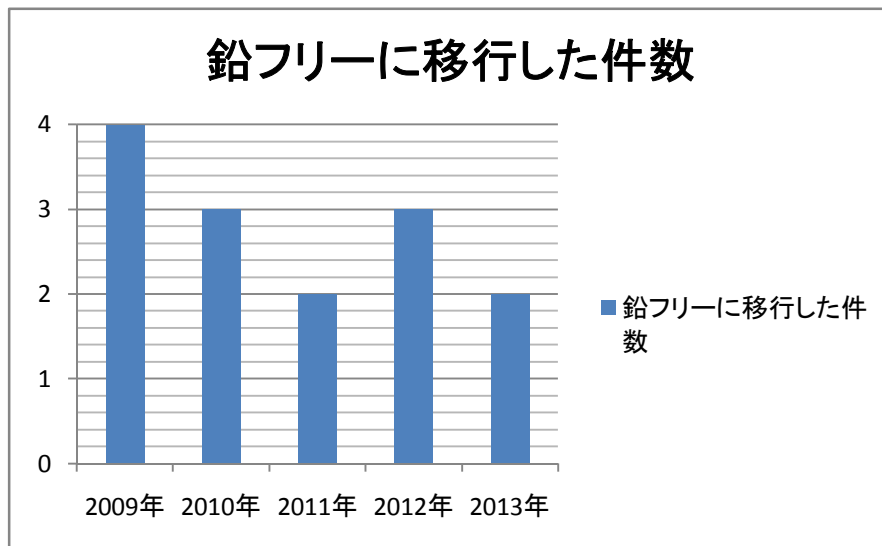
（お客様での部品実装時の不良低減による廃棄物削減、工数削減が可能）

また基板の鉛フリー化を進める事により環境への負荷低減を計ります。

これら活動により顧客の幅を徐々に広げることができています。

尚、有鉛はんだの鉛フリー化が進み、ほとんど切り替え済みであり、

今後の目標の達成が難しいため、次期目標に設定しない。



スタッフの努力により鉛フリーフロー（ディップ）パレットの新規顧客数は順調に増えております。低VOCのHDコーティングへの切り替え顧客数は微増に留まりました、 今後はコストを見直し切り替えを促進したい。

2014年度はさらに切り替えが進むよう、目標達成に向けて取組んで参ります。

「グリーン調達」に関しては、治具のネジ等を、錆びず長期使用が可能な

ステンレス製への切り替えを推進しました。また資材の仕入時には

環境への取り組みを考慮し、購入先を検討しています。

## 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

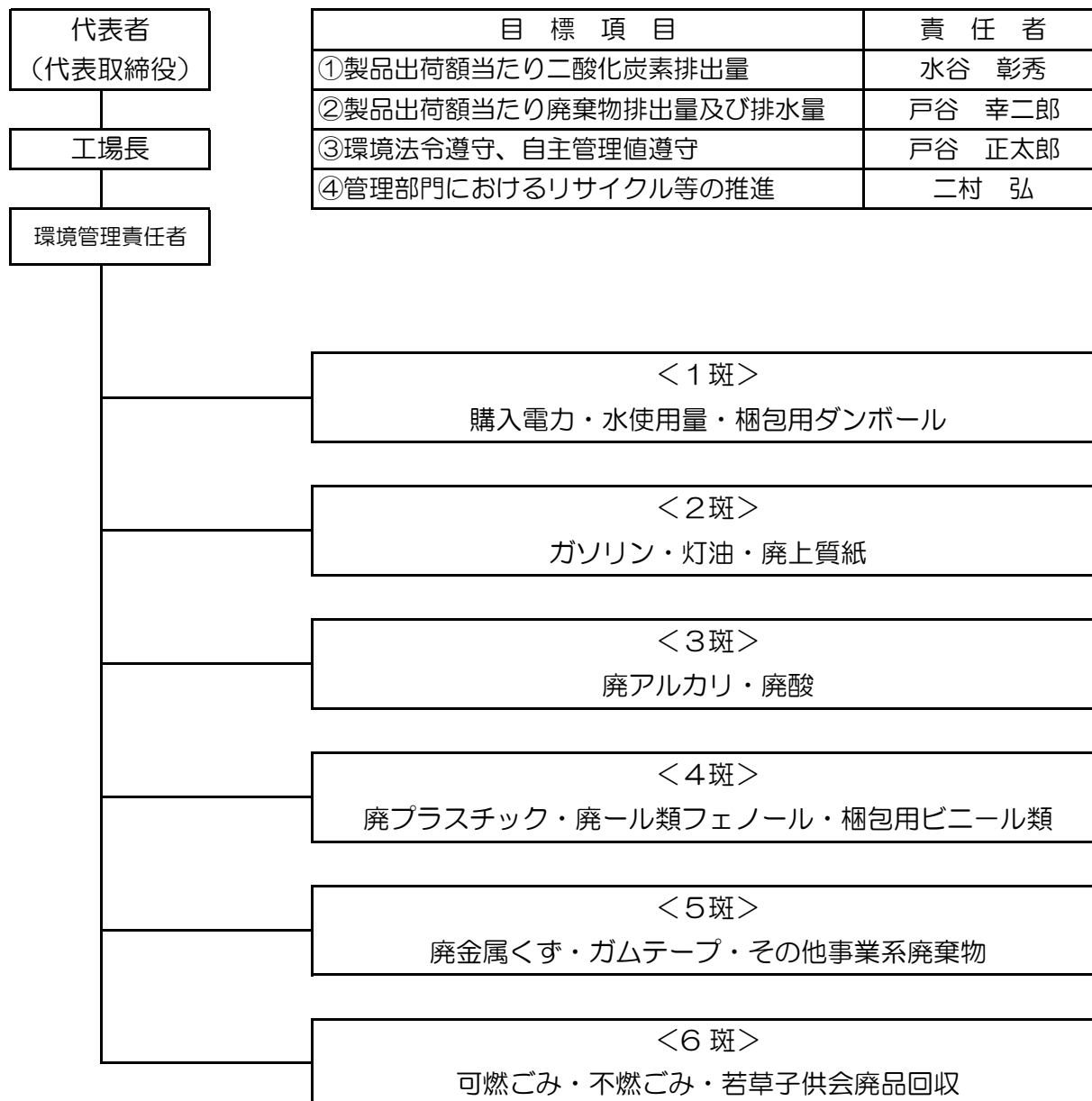
大気汚染物質、水質汚濁物質、騒音、振動などの違反はありません。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去5年間無く、訴訟等もありません。

当社の事業活動に関連する環境法規は以下の通り。

法律名	対応状況
大気汚染防止法	ばい煙施設・特定粉塵施設を保有していない。一部の扇風機にフィルターを設置。
特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律(フロン回収・破壊法)	特定製品(業務用エアコン、冷蔵庫等)の整備・廃棄時のフロン回収・破壊時は、引き取り証明書による回収・破壊の工程の確認を行っている。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の抑制、適正な処理、生活環境の清潔、公衆衛生の向上を目的とし、廃棄物の定義を明確にする。 マニフェスト等の必要書類の確認・保管を継続。
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	特定家庭用機器(TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコン)を廃棄する場合の適正処理(リサイクル費用支払いと管理表の保存)している。
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	できる限り環境物品等の選択に努めています。
水質汚濁防止法	作業設備を特定施設として届け出ている。なお、廃液は外部へ排水せず処理業者へ委託している。また、廃液が漏洩などにより地下に浸透したり、公共用水域に流れ込まない処理を行っています。
下水道法	下水は必ず中和処理されて流れるようになっており、そのための測定も実施して遵守を確認している。(pH値)
騒音規制法	工場の境界線の数箇所で必ず年に一回測定を行い、順守状況にある事実を確認している
振動規制法	騒音規制法同様、測定によって法律の遵守状況を確認している。
循環型社会形成推進基本法	最終廃棄物の発生抑制に努めている。
特定家庭用機器再商品化法	家電リサイクル法と同意。 法律に則った電化製品の処理をしている。
悪臭防止法	臭気の強い溶剤は密閉管理し、外には漏れださない。また、焼却行為も、ボイラーの様な施設の存在もありません。
毒物及び劇物取締法	法律に則り、医薬用外劇物に関してはBOXにて施錠管理を行い、出入りも記録管理している。
消防法	危険物の保管料は指定数量以下である。 規定温度以上になる場所での保管を禁止、確認している。

# 実施体制図



\* 当社の作業者は、必ずこのうちの一つに所属し、提案をして削減に努める。

## 代表者による全体の取り組み状況の評価及び見直し

大陸からのPM2.5が東海地方の空を覆う日があったりして社員ひとりひとりも環境問題に対する危機意識が向上する今日当社も環境活動を取り入れて早6年目となりました。



### 環境負荷低減のテーマ

- ① 二酸化炭素排出量削減
- ② 事業系排出物の削減
- ③ 水使用量の削減
- ④ 化学物質の削減、グリーン購入、鉛フリー治具、基板の拡販

①につきましては

以前に契約電力の削減を行いまして機械の同時使用ができなくなり仕事に支障が出ており本来の環境経営から逸脱していると反省しております。挑戦するところは非常に良かったと思いますが、是正するところは素直に是正明日につなげていきたいと思っております。また不要な電灯を消したり不要な電気釜を止めたりの節電対策は定着し習慣化しております。

②につきましては

シュレッダーも大型となり不要紙の梱包材としての再利用も順調  
不要なダンボール雑誌などは地域の子供会の廃品回収活動に協力して大変感謝してもらっています。

③につきましては

節水バルブを設置してありますが作業性も悪く待ち時間がイライラする感もありあまり合理的な改善ではなかったと反省しております。  
当社は井戸水がありますのでもっと利用する方法を考えるべきと思っております。

④につきましては

ハ  
今後も更に増やして売上を伸ばしたい。

### 環境コミュニケーションについて

事業所付近の道路の草取りや事業所付近の人たちとの挨拶などは社員が進んで行う習慣となりました。地域の子供達が行う廃品回収活動では大変感謝され親しみをもって回収して頂いております。

### 感想

長久手市より工場用地の緑地保全を求められております。  
そこにはカブトムシの幼虫など多様な動植物の住処となっており子どもたちに夢を与えています。出来るだけ現在の場所で事業を続けたいと思っております。

